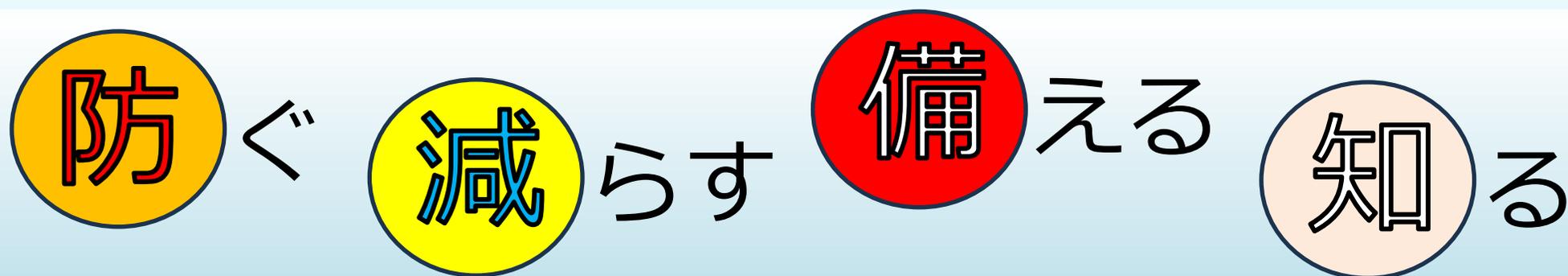


防災週間実施



防災週間の目的：

災害の未然**防**止、被害を**最小限**にとどめる、災害に**備**える、
災害対策の**知**識を高める

コート狭山台 自主防災会

広報班



災害発生

すぐ避難！
安全な場所へ！

逃げる

集合場所

マンション居住者皆様と連絡可能な場所

- ・各棟エントランスホール
- ・管理事務所・管理事務所前広場
- ・集会所

在宅避難

マンションなど耐震性が高い家屋の場合、
災害発生後、自宅で暮らすという選択肢も

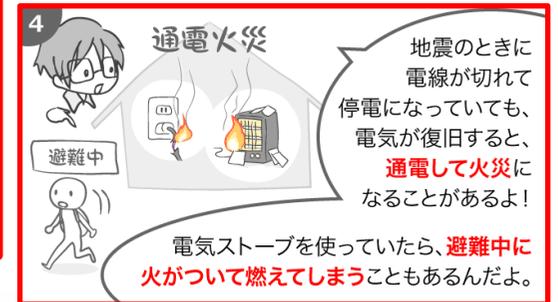


- ▶ 見ず知らずの人と共同生活を送ることは負担が大きく、
住み慣れた安心できる自宅での生活は有効。
- ▶ 避難所に多くの人があふれるため、自宅が倒壊して
いなければ、避難所に入れない可能性がある。

▶ 自宅で被災生活を
送るための 備えが重要



避難の前にブレーカーを落とす！

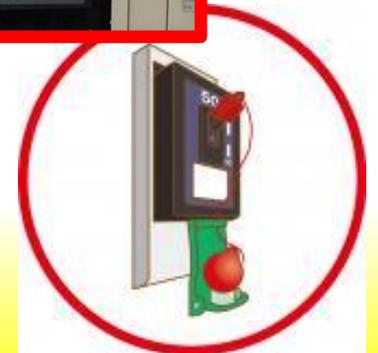


「通電火災による甚大な被害を防ぐには、

感震ブレーカーアダプターが必要です



地震時、
ブレーカーを
OFFにします。





いつもの備え！



1 最新情報入手

ラジオ・テレビなどから最新の気象・災害情報を入力し、危険を感じたら避難準備をしてください。



3 避難所を確認

避難する前に、**ガスの元栓**を閉め、**ブレーカー**を落としましょう。万一途中で家族が離ればなれになった時の集合場所も決めておきましょう。



5 助け合って避難

子供や高齢者、病気の人などは避難に時間がかかるので、早めに避難させましょう。近所の人の場合も**積極的に協力**しましょう。



7 避難は徒歩で

車での避難は、緊急車両通行の妨げや交通渋滞を招くことになります。特別な事情がない限り、**徒歩で避難**してください。



2 呼びかけに注意

市役所、消防署、警察署からの避難の呼びかけに注意してください。



4 2人以上で避難

出来るだけ1人の避難は避けましょう。また、子供からは目を離さない



6 安全な避難

浸水があった場合は、溝や水路に十分注意しましょう。土砂災害の恐れがある場所には近づかないでください。



8 避難に遅れたら

万一、避難に遅れ、危険が迫った時には、近所の丈夫な建物に逃げてください。



日頃の備えと災害時の助け合い

◆高齢者・寝たきりの方のために

日頃の備え

日頃から災害時要援護者が地域のどこに何人ぐらいいるのかを把握し、日常的にコミュニケーションを図っておくことが必要。

災害時には

早めの避難が必要。
近所の高齢者や寝たきりの方の避難に協力する。

介助のポイント

緊急の時はおぶって安全な場所まで避難する。

複数の介助者で対応する。

不安を取り除くように声をかける。

◆目が不自由な方のために

日頃の備え

白杖(ハクジョウ)は必ず手の届くところに置いておく。

災害時には

周りの人に安全な場所までの誘導を依頼する。

介助のポイント

災害時には声をかけ、情報を伝える。

誘導する場合は杖を持った方の手には触れず、ひじの辺りを軽く持ってもらい半歩前をゆっくり歩く。

方向や目の前の位置などは、時計の文字盤の位置を想定して伝える。

◆耳が不自由な方のために

日頃の備え

日常から筆記用具を携帯しておく。
市のモバイルメールに登録しておく。

災害時には

メモなどで、正確な情報を周囲の人に聞く。

介助のポイント

話をする時は口の開け方をハッキリとし、相手にわかりやすいようにする。

手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。

◆肢体が不自由な方のために

日頃の備え

障害者などの災害時要援護者を把握し、地域の具体的な救援体制を定めておくことが必要です。

災害時には

車椅子は安全な場所に停め、介助者の協力を求める。

介助のポイント

階段では二人以上が必要。
上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。

介助者が一人の場合、おぶりひもなどを利用し、おぶって避難する。



防災訓練時の各班の役割

毎年秋に行われている防災訓練は、直下型地震（震度7）でコートのマンションライフに甚大な被害を及ぼしたことを想定したもので、防災会のマニュアルに沿って指揮命令系統の確認、行動確認、居住者と連携して初期消火、避難誘導・救出・救護などを体験しながら非常時に慌てずに落ち着いて適切な行動が取れることを目的とする。それぞれの班の任務は：

■ 広報・情報班：

情報の伝達、収集（市役所、消防への通報） 居住者に避難の呼びかけ 安否情報の把握 避難場所の生活時の注意事項などの呼びかけ

■ 救出・救護班：

要援護者の救助及び救急車の手配 避難の呼びかけ、安全な避難誘導 要援護者の誘導 救護所の設置と運用 地域と連携

■ 生活安全班：

初期消火活動、出火予防 エレベーターの安全確認 建物の被害状況の確認 飲料水供給対策、トイレ対策 建物の防犯活動

■ 物資班：

必要資機材（階段避難者や簡易トイレなど）の準備と搬出
炊き出しと必要に応じた備品と食糧の配布



非常警報設備 (非常ベル)

火災・避難を要する地震・ガス漏れ等の非常時に使用

生活安全班

非常設備配置図

7F	非常ベル 消火器			
6F	ホース格納箱 (2か所) 消火器			
5F	非常ボタン 非常灯 消火器			
4F	ホース格納箱 (2か所) 消火器			
3F	非常ベル 消火器			
2F	消火器			
1F	受信機 非常ボタン 非常灯 消火器			

非常ベルの操作方法



- ・ 各階段の 1F, 5F に設置されている押ボタンを押すと 3F、7F 設置の 非常ベルが鳴動する。
- ・ 同時にエントランスホール設置の受信機に 発報された階段位置が点灯する。
- ・ 同時に管理事務所及び大京ログシステムに自動 送信され、管理人不在の場合は 大京から警備 会社に連絡する。

☆ 現地に急行し

異常の有無を確認 ☆

ホース格納箱（各棟4Fと6F）

- ・「ホース（放水用器具）格納箱」という標識が付いて中に消防用ホース・ノズルが設置されている。





災害時に於ける受水槽の水活用

生活安全班

1 道具の保管場所



防災倉庫内の入口手前左側の最上段

2 保管箱内の機器



元栓のハンドル



1 次蛇口のハンドル



3 受水槽 1号棟北側



2 次蛇口類の構成部品

元バルブ



1次蛇口



4 受水

2次蛇口及びパイプ類をつなぎ合わせて
柵の外側にセットして 受水を始める。



5 残留塩素測定をして安全な水を使用

- ① 最初はタンク内底部に若干の汚れ水が溜まっているので水抜きする。
- ② 備え付けの透明のコップに採取した水は色、臭い、味を確認して問題ないと判断したならば、残留塩素測定器で濃度を確認してから使用する。



残留塩素テストキット使用手順

- ① 中央の試験管に試薬と水を入れる
- ② 両脇の色判定基準で判断
(0.1~2.0の濃度判定値)

※日本の水道は法令により蛇口で検出される塩素の濃度は0.1mg/L以上保持するよう定められている。

災害時、震災時に必ず必要になるのが生活用水。その供給源として、活用できるのが受水槽の水になるのでいざという時にみんなで活用できるよう日頃から備えておく。



防災備品倉庫

備える

物資班





いつも備えを 防災訓練

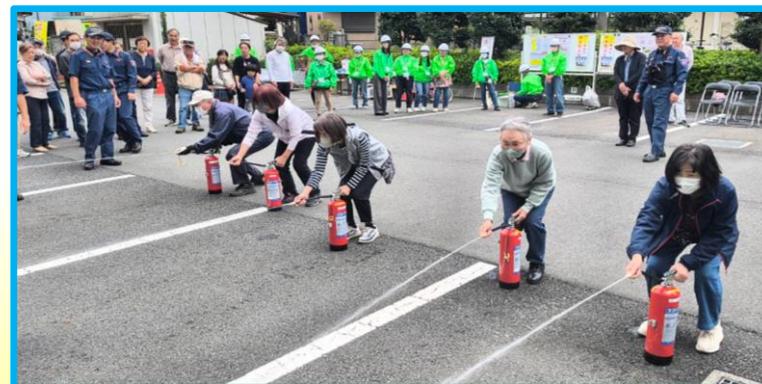
毎年10月に実施

体験型防災訓練の実施

消防署指導で訓練開始



水消火器操作



応急救護



心肺蘇生法

煙体験



緊急搬送



自主防災通信

防災訓練実施案内の掲示

令和7年度コート狭山台自主防災会防災活動

防災訓練実施

訓練背景 備えよう災害に
高めよう防災行動力

10月19日(日)
午前10時00分より

一部に火災発生

訓練場所
マンション内全領域
(主要場所は1号棟、2号棟間の駐車場)

非常ベル吹鳴
午前10時丁度！
出火 避難開始

『OK』マーク
避難完了の目印を
玄関ドアに貼り、
1、2号棟間に設置の
一時避難場所に集合

安否確認
避難状況把握
各戸の
『OK』マーク確認

◇当日のタイムスケジュール表は 後日 お配りします◇

富士見消防署からの
指導による
体験訓練
『消火訓練』『心肺蘇生法』『消火器』『避難タカ』『AED』『避難体験』『車椅子』

さあみんなで
参加しよう！

消火器 心肺蘇生 煙

みんなで減災いつも備えを！ 10/19 防災訓練



いざという時の
応急手当を
防災訓練で
体験しよう！

コート狭山台自主防災会

自分の命は自分で守る！

防



災

避難

災害はいつどこで起こるかわかりません。災害発生時には避難方法の判断ミスが命に関わる事態を招くことがあります。平時から「どの災害にどう備えるのか」を意識し、避難所、避難場所を確認しておくことが命を守る大切な行動につながります。



みんなで防災 体験型防災訓練 デジカメショット！

実施日：2025/10/19



『防災週間』について

令和8年3月8日より15日まで

テーマは

"いつも型防災の取り組みを！"

自主防災通信を発行(不定期)、皆様へお届けしていますので、

日頃からの備えや防災を考えるデータとしてください。

コート狭山台 自主防災会

広報班